

DP (教育目標)

DP 1 政策研究、国際政治・経済研究、国際企業研究、観光研究などの領域において課題を発見し、深く掘り下げ研究することができる。

DP 2 国際的かつ学際的な視野をもって、幅広い教養、専門的知識、実務及び専門能力、異文化適応力を修得し、高度の専門性を要する職場等で活用することができる。

| 科目群       | 科目名             | 単位数 | 科目区分 | 科目概要  | DP 1 | DP 2 | SDGs該当項目       |
|-----------|-----------------|-----|------|---|------|------|----------------|
| 基礎        | 研究基礎・学術論文執筆     | 2   | 必修   | 本講義では、研究を進めるにあたって必要とされる調査研究方法（文献・統計データの活用法、分析・考察、プレゼンテーションスキルなど）の基礎を身につける。また、学術論文としてのレポート、修士論文を執筆する際に必要不可欠な論文作成の技法を習得する。<br>具体的な授業内容は、修士論文における研究の進め方や、論文の構成および執筆の基礎について、講義やワークショップで具体的に学ぶ。さらに修士論文の研究テーマなどを題材にして、論文の書き方を実践する。前半の研究基礎については石井が担当し、後半の学術論文執筆については遠藤が担当する。   | ◎    | ○    | 7,8,9,10,11,12 |
|           | 統計学             | 2   | 必修   | 本講義では、統計学とデータ分析の基礎を学ぶ。単なる計算だけではなく、データの特性や分析目的に応じて適切な分析手法を選択し、現実のさまざまな問題に対処できるようにする。具体的には以下の習得を目指す：(1)データの整理方法や社会現象を測る手法を習得する (2)確率、確率変数として確率分布を正しく理解する (3)推定と仮説検定という代表的な統計的推測をマスターする (4)簡単な回帰分析を用いて実際のデータに応用し、推測などができるようになる。  | ○    | ◎    | 7,8,9,10,11,12 |
|           | 経営・経済           | 2   | 必修   | 本講義では経営と経済の基礎知識を取得し、研究を進めるための視点や手法を身に付けることを目的とする。経営では損益計算書、貸借対照表、そして、キャッシュフロー計算書の財務三表の読み方と企業分析の手法を学ぶ。また、株式会社の仕組みや経営のガバナンスを学ぶ。経済では、ミクロ経済学とマクロ経済学の基礎を学ぶ。ミクロ経済学では、家計、企業、政府という経済主体の行動と市場メカニズムを学ぶ。需要と供給、価格弾力性、市場均衡、社会厚生と余剰を学ぶ。マクロ経済学では、経済全体のパフォーマンスを測る指標であるGDP、インフレ、失業、利子率、貨幣がどのように決定されるかを学ぶ。財政政策や金融政策の効果を学ぶ。  | ○    | ◎    | 8,9            |
|           | 国際アドミニストレーション概論 | 2   | 必修   | 国際アドミニストレーション研究科の基礎概念であり、「政策」「国際政治・経済」「国際企業」「観光」の専門領域の基盤となる「国際的教養・視点」「営利・非営利」「マネジメント」についての基礎知識を習得する。また、今日の国際社会を理解するため、政治・政策、経済、産業、企業などの基礎知識と情報および分析ツールとしての基本的な理論体系を理解・習得する。さらに、専門研究に不可欠な学際的・分野横断的視点や手法、心がけなどを習得する。また、世界各国の政治経済の現状や課題、社会の変化や方向性についても広く学ぶ。授業形式は、講義を中心に、視覚情報やデータ・情報等を活用し、議論も行う。学生は積極的に調査研究や発表を行う。  | ○    | ◎    | 8,12,17        |
| 政策研究      | 公共              | 2   | 選択   | 本講義では、①公共の概念に関するフレームワークについて学習する。②公共政策に関するデータ分析・考察について理解を深める。③公共（政策）について学ぶための学術的な基礎を習得する。<br>具体的な授業内容は、受講生は、公共（政策）の事例についてグループワークおよび各自が設定したテーマを通して学習する。前半はグループごとにテーマを決めて、公共（政策）の事例研究に取り組み、プレゼンテーションと質疑応答を行う。後半は各自のテーマを設定して分析・考察を行う。   | ◎    | ○    | 3,4,6,9,11     |
|           | 法・行政            | 2   | 選択   | 政治、経済、文化の面で国際社会で重要な位置を占める日本を理解し、分析する能力を身につけることが、国際人として重要になってきている。第2次世界大戦後の日本が歩んできた道を振り返り、日本が現在そして今後直面する政策課題を分析し、グローバル社会の中で日本の政治、行政、社会のあるべき姿を分析・考察する。日本の政治や行政の基本となる憲法や民主主義制度を検討し、これを運用する政治、行政の仕組み法制度等について理論的、実証的に考察する。日本の現状や国際社会における日本の役割などを自ら考える力を養い、最近の日本の政策動向を分析して、将来の課題を検討していく。授業は主に講義形式で行うが、具体的な事例や様々な視点からできるだけ興味深く学べるように工夫すると共に、院生との双方向な議論や動画活用等の多様な柔軟な対応で理解を高めていく。                          | ◎    | ○    | 1,5,10,12,16   |
|           | 都市再生            | 2   | 選択   | 本講義では、①日米の都市再生とまちづくりの事例について学習する。②都市政策における政策形成プロセスの理解を深める。③公共政策について学ぶための学術的な基礎を習得する。<br>具体的な授業内容は、受講生は、日米の事例を通して都市・地域と政策の関係や政策形成プロセスについて学習する。各自各回のテーマに沿った意見を持ち寄り、受講生間で都市政策のあり方について積極的に議論する。課題は、都市・地域に関する政策提言を作成する（レポートとプレゼンテーション）。   | ◎    | ○    | 9,11           |
|           | 福祉              | 2   | 選択   | 社会保障制度は、年金や医療及び福祉などの「子制度」を通して、けがや病気、失業、高齢など、人生で起こりうる様々なリスクに対して、生活の安定と安心をもたらしてくれる最も重要な仕組みであり、今や私たちの生活になくてはならない存在である。そこで、本科目では、「年金制度・労働保険などの制度を通して生活と福祉を考える」をテーマとして、公的年金制度、雇用保険制度、労災保険制度、生活保護制度、社会福祉制度、医療保険制度、介護保険制度、社会手当制度などの社会福祉制度や社会保障制度の存在意義、その仕組みと内容などの体系的な知識の修得と理解を得たうえで、自ら説明することと適切な評価を行うことができるようにしていくこととする。また、現在進行中の社会保障改革についても、現行制度の問題点や改革のポイントを中心にして、できるだけ平易に解説していく。なお授業形態は、演習および講義形式で行う。 | ◎    | ○    | 3,8,10         |
| 国際政治・経済研究 | 国際政治経済          | 2   | 選択   | 本コースでは、国家間や地域の紛争や政治・経済・社会の歴史および現在の諸問題（戦争、核拡散、国連改革、金融危機、パンデミクスなど）と問題解決への様々な取り組みについて学ぶ。国際政治経済学における主要な理論や概念を習得し、問題の因果関係、関与アクター（国家、国際組織、グローバル企業、個人など）、問題解決のアプローチを体系的に理解し、データ・ドリブンな分析能力を高める。クラスは講義、クラス討議、プレゼンテーション、個人研究の形態をとる。国際関係に関する自由テーマで研究プロジェクトをデザイン、実施する。研究テーマを決め、データ情報を収集・精査・分析し、「提議（仮説）」を立てて証明する。  | ◎    | ○    | 8,9            |
|           | マクロ経済学          | 2   | 選択   | 本講義は、エコノミストのようにマクロ経済を分析できるようにする。世界的に定評のある中級レベルの教科書を用いて、短期の景気変動、中期の失業・インフレーションの変動と、長期の経済成長に焦点を当て、現実のマクロ経済問題を分析する枠組みを習得する。具体的には、受講生が以下のマクロ経済分析ができるようになることを目指す：(1)マクロ経済学の基本的な用語や概念を説明できる (2)GDPやインフレ、利子率、経済成長がどのように決まるのか説明できる (3)新型コロナウイルスや金融危機などの負の経済ショックに対する、財政政策・金融政策の分析や経済予測ができるようになる。   | ◎    | ○    | 8,9            |
|           | 政治リスク分析         | 2   | 選択   | 本コースでは、グローバル化と共に顕在化してきた「政治リスク」をテーマに、政治リスクがグローバルビジネスや社会活動にどのような影響（可能性と脅威）を及ぼすかを体系的かつ具体的に学び、リスクコントロールの具体的手法を模索する。実際の授業では、講義、クラスディスカッション、プレゼンテーションを通じて、リスク分析の主要理論（一般的かつ政治面）を理解し、その上で、歴史的、現代、仮想の事例を取り上げ、実際のリスク分析と問題解決策定を行う。   | ◎    | ○    | 10,16          |
|           | アジア経済           | 2   | 選択   | 97年の通貨危機によって、アジアは一時成長のスピードダウンがあったが、その後、順調な回復を遂げ、今日、北米、EUを凌ぐ「第三の地域経済圏」として注目されている。近い将来、世界最大の経済圏の出現に伴ったアジア地域統合の構想などが浮上している。授業は、アジアの主要国である中国、韓国の発展及び日本経済との補完的な成長関係を考察する。そして、その他のアジア諸国の発展と日本経済との交流関係を解説し、東アジアにおける地域統合の可能性、問題点を探りながら今後を展望する。  | ◎    | ○    | 8,9            |
|           | 米国の政治・経済・社会     | 2   | 選択   | 本コースでは、アメリカ合衆国の成り立ち、政治制度、憲法とその思想、政治機構、政治文化、国家と国民の関係、外交などを体系的に学ぶ。また、グローバリゼーションに伴う社会の分断や格差、トランプ政権以来の「ポピュリズム」の台頭など、時事問題についてもふれる。個人研究、クラス討議、プレゼンテーションなどを通じて、アメリカの政治問題や時事を批判的に分析する能力を高めることを目標とする。個人研究では、アメリカ政治に関する研究テーマを決め、データ情報を収集・吟味し、「提議（仮説）」を立てて証拠や理論で説明することが求められる。  | ◎    | ○    | 8,9,10,11,12   |

|                |                |   |    |  |   |   |                 |
|----------------|----------------|---|----|--|---|---|-----------------|
|                | ASEANの政治・経済・社会 | 2 | 選択 | 本講義は東南アジア諸国に興味を持つ学生のために設定されている。現在、躍的に経済成長を遂げる東南アジア諸国（ブルネイ、カンボジア、フィリピン、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマ、シンガポール、タイ、ベトナム）連合について政治、経済、社会の基礎知識を身に付けると同時に日本や中国など他の国々との関わりを学ぶ。特に日本はアセアン諸国と密接な関係を持ち日本の海外投資はアセアン諸国が今最多で日本の経済成長のためにもアセアン諸国は重要な位置付けとなっているために日本経済の今後についても垣間見える。また、アセアン諸国は多民族国家の国が多く協調と共存の歴史があるためにこれからのグローバル社会の在り方を考える上でも面白い内容となる。   | ◎ | ○ | 8,9,10,11,12    |
| 国際<br>企業<br>研究 | グローバル経営        | 2 | 選択 | 本講義は、グローバルな企業経営を、その理論と実務の両方から理解を深めることを目的とする。講義では、まず、国際的な事業展開についてゴジャールモデルなどから整理し、その展開手法を輸出、ライセンス、フランチャイズ、グリーンフィールド、合併、そして買収に分類して学ぶ。そして、日本企業による水平・垂直統合による事業拡大、また、海外企業による日本での買収や合併事業のケースを用いて、グローバル経営の課題を吟味する。最後に、TPPやASEAN経済共同体、RCEPなどの政府間経済協定がグローバル経営に与える影響や課題について議論する。  | ◎ | ○ | 8,12            |
|                | 日本企業研究         | 2 | 選択 | 第二次大戦後の日本経済の発展は、軽工業に始まり、基礎資源・エネルギー産業、輸送用機械、電機精密機械産業、ハイテク・ロボット、IT産業、アニメ・ファッション等文化産業と大きく変遷してきました。50年以上の間、社会の要請に的確に答えながら、事業内容を社会のニーズに合わせて変化させ、成長し続けてきた企業があります。部品メーカーのシマノ、化学素材メーカーの信越化学、精密機器メーカーのキヤノン、流通小売りの7&iホールディングス、おもちゃゲームメーカーのNINTENDO、総合飲料メーカーのASAHIホールディングスなどです。また他方で、90年代以降の低成長下の日本において着実に成長を続けている企業があります。NITORIホールディングスやファーストリテイリング（UNIQLO）などです。これらの企業の成功要因、成長要因を分析し、優良企業とは何かを分析、研究する能力を高めることを目標とする。 | ◎ | ○ | 8,9,12          |
|                | ベンチャー企業        | 2 | 選択 | 本講義は、起業やベンチャー投資に関心のある学生を対象として、スタートアップとその経営について理解を深めることを目的とする。起業の成功には、事業機会を評価して収益の仕組みを立案すること、Pre-Seed、Seed、Series A、B、Growthといった成長のステージごとの適切な資金調達と経営管理、そして、株式上場など出口まで導く能力が求められる。特に資金調達は事業化に欠かせないことから、ベンチャーキャピタリストなど資金の出し手の視点からもベンチャー企業の経営を議論していく。理論に留まらず、ケースディスカッションやプレゼンテーションを交えインタラクティブな講義とする。  | ◎ | ○ | 8,9             |
|                | 企業戦略           | 2 | 選択 | 本講義は、企業戦略の理論と実践について理解を深めることを目的とする。まず、企業戦略に関する主な理論を概観した後、戦略の立案に不可欠な事業分析のフレームワークである5フォースモデル、ポジショニング、PPMやRBVなどの手法を学ぶ。その上で、戦略の展開手法としてのビジネスモデルについて議論する。履修者が、経営者として、また投資家の視点から企業戦略を分析、評価する能力を身に付けることを目標とする。講義では、国内外の企業による企業戦略とその実行、そして結果をケースとして取り上げながらインタラクティブな授業を行う。履修者にはケースディスカッションやプレゼンテーションなどへの積極的な参画を求める。   | ◎ | ○ | 8,9,12          |
|                | サプライチェーンマネジメント | 2 | 選択 | サプライチェーンマネジメント（SCM）とは、原材料から最終製品の製造および販売に至る企業間取引のすべての工程、つまり「1.原材料の調達とその保管、輸送」、「2.部品製造、その保管と出荷」、「3.完成品の製造、その保管、出荷」、「4.流通チャネル（保管、卸売り、小売り）」、「5.最終消費者の購入とメンテナンス、もしくは利用後の回収」の間の連鎖を最適化し、スループット（生産量・生産額、販売量・販売額）を最大化するためのマネジメントシステムです。SCMの概念を理解し、SCMの実用例（企業で実際に使われている事例）を通して、実践的な知識とマネジメント能力を身に付けます。   | ◎ | ○ | 7,8,9,12,14,15  |
|                | イノベーションマネジメント  | 2 | 選択 | 本講義では、イノベーションが企業の競争力の源泉であり、またその本質は、経済発展の原動力であることを学ぶ。講義の前半は、企業家による新結合の遂行こそが経済の発展をもたらすと説いたシュンペーターの『経済発展の理論』、そしてクリステンセンによる破壊的イノベーションなど、イノベーションの関する代表的な理論や概念を理解する。講義の後半は企業経営におけるイノベーションマネジメントを多面的に解説する。まず、組織設計の視点から、既存事業の深化と新事業の探索を追求する両利きの経営を吟味する。イノベーションの普及をライフサイクル、キャズムやトラクションから説明し、市場の両面性とネットワーク効果について概観する。最後に、イノベーションを創出する手法として、オープン・イノベーション、特に昨今、日本企業が本格的に取り組み始めたコーポレートベンチャーキャピタル（CVC）の役割と可能性について議論する。   | ◎ | ○ | 8,9             |
|                | マーケティング戦略      | 2 | 選択 | マーケティングとは、顧客に求められる価値創造活動であり、その範疇には売れるために必要となるあらゆる手法を含んでいる。マーケティング戦略とは、市場という戦場での陣取り合戦（シェア獲得競争）であり、そのためにユーザーのニーズを踏まえたより良い製品/商品を開発し、プロモーションを仕掛け、ユーザーに届きやすい流通チャネルを通して適切な価格で販売するという一連の活動をどのように戦略的に遂行するかという点に集約される。マーケティング戦略の基本は、市場の構造化（セグメントの明確化）であり、構造化されたセグメントの中のどこをターゲットにするかを議論し、そのマーケットへの切り込み方を明確化していくことから始まる。実社会で応用できるような実践的なマーケティング論を学ぶことで、マーケティング的問題解決能力を高めることを目的として実施する。                                | ◎ | ○ | 8,9             |
| 観光<br>研究       | 観光関連産業         | 2 | 選択 | 本講義では、①観光関連産業に関する国内外の事例について学習する。②地域における観光開発のあり方について理解を深める。③観光産業・地域開発について学ぶための学術的な基礎を習得する。具体的な授業内容は、受講生は、国内外の観光関連産業と観光地域開発の事例について学習する。各自各回のテーマに沿った事例を持ち寄り、受講生間で観光地域開発のあり方について積極的に議論する。課題は、各自対象地区を選定し、開発計画を提案する（レポートとプレゼンテーション）。   | ◎ | ○ | 8,9,11,12,14,15 |
|                | 観光地経営          | 2 | 選択 | 本講義では、①観光地経営に関する国内外の事例について学習する。②地域活性化やまちづくり等、観光地経営のあり方について理解を深める。③DMO（Destination Management/Marketing Organization）等による観光地経営について学ぶための学術的な基礎を習得する。具体的な授業内容は、受講生は、国内外の観光地経営の事例についてグループワークおよび各自が設定したテーマを通して学習する。前半はグループごとにテーマを決めて、観光地の事例研究に取り組み、プレゼンテーションと質疑応答を行う。後半は各自対象地区を設定して分析・考察を行う。  | ◎ | ○ | 8,9,11,12,14,15 |
|                | 国際観光開発         | 2 | 選択 | 本講義では、まず観光の基礎概念に触れ、観光産業が与える好影響について議論する。本講義を通じて、受講生たちは観光政策を学ぶことができる。観光政策を通じて、国際観光や観光開発、そして地域観光への理解を深める。観光論への知識を深めながら事例を通じて、国際観光や観光開発、そして地域観光の発展過程を学ぶ。受講生たちには、発表、レポート提出、そして最終試験を課す。本講義は、日本語で行う。事前・事後学習においては、それぞれ計4時間を想定している。   | ◎ | ○ | 1,8,16          |
|                | 航空ビジネス         | 2 | 選択 | エアラインビジネスを多面的に学ぶことを通じ、エアライン業務や人流・物流についての理解を深める。授業では、航空産業の成り立ちや経営環境、エアラインビジネスの具体的な業務実態、安全・リスク管理、事業戦略、マーケティングなどに関する知識をさまざまなケーススタディも交えて身につけるとともに、ビジネスで必要とされる幅広い知識や経営手法、さらには課題や演習への主体的な取り組みを通して思考力や発信力を修得することを目指す。   | ◎ | ○ | 9               |
|                | フィールドワーク       | 2 | 選択 | 本講義では、①観光研究に必要とするフィールドワークの手法について学習する。②得られた情報について分析・考察の仕方について理解を深める。③修士論文作成に活用するための社会調査の基礎を習得する。具体的な授業内容は、受講生は、社会調査に関する課題についてグループワークおよび各自が設定したテーマを通して学習する。前半はグループごとに対象地区を決めて、地方自治体の事務所やアンテナショップなどを訪問し、資料収集やヒアリング調査を行い、プレゼンテーションにまとめる。後半は各自テーマを設定して調査を進め、プレゼンテーションを行い、レポートを提出する。   | ◎ | ○ | 11,14,15        |

|      |                               |   |      |  |   |   |                |
|------|-------------------------------|---|------|--|---|---|----------------|
|      | ホスピタリティマネジメント                 | 2 | 選択   | 本講義では、観光部門におけるホスピタリティ産業の特徴を学ぶ。主にホスピタリティ産業における基礎概念を学び、ホスピタリティ関連産業に対する理解を深める。国内外の事例研究を紹介し、今日のホスピタリティ産業の実態に触れる。特に宿泊業と飲食業に焦点をあて、ホスピタリティサービスの実態に触れる。本講義は、日本語で実施する。事前・事後学習においては、それぞれ計4時間を想定している。受講者たちは、講義内の発表を通じて、母国のホスピタリティ関連産業についても理解を深める。   | ○ | ◎ | 4, 6, 8,12     |
| 事例研究 | 政策形成ワークショップ                   | 2 | 選択必修 | 政策形成には多くのプレーヤーやアクターが関わる。そして多様な側面が存在する。また人材、資金、情報、タイミングやシチュエーションなどのさまざまな要素が関係する。そこで、本授業では、「政策形成がどのように行われるか」「政策形成に関わる様々なスキルや観点」「政策形成や社会の変革に関わるプレーヤーの存在や役割」について学び、自身が政策形成や社会変革の場にいた時に活躍できる基礎を構築する。本授業では、さまざまな形式や内容のワークショップを行い、政策形成がどのように行われるかを考え、探求する。また時には課題を与え、事前の調査などを実施し、授業で発表することも求められる。   | ○ | ◎ | 12,16          |
|      | M&A戦略                         | 2 | 選択必修 | M&Aは企業が戦略を実現する有力な手段として活用する動きが広がっている。国内市場の成熟から成長のフロンティアを海外に求めて、海外M&Aに取り組む経営者も多い。本講ではファイナンスと経営戦略の2つ視点からM&Aを捉え講義を行う。講義前半は、買収時における企業価値算定や買収の交渉などのプロセスを解説する。講義後半は、買収後の経営に焦点を当て、事例を用いて議論を行う。日本企業による買収の成功や失敗例、米国グーグルやIBMの買収による成長、中国や台湾企業の海外買収を考察する。前半と後半を通じて、M&Aの理論と実践をバランスよく学ぶことを目的とし、受講生には、ディスカッションに積極的に参加することを求める。   | ◎ | ○ | 8.9            |
|      | 多国籍企業                         | 2 | 選択必修 | 企業の海外進出、企業活動のグローバル化が起こるメカニズムとその背景、問題点及び分析道具としての理論体系を学習し、企業海外進出の実態と理論を系統的に理解することを通じて、グローバル時代の多国籍企業の姿を明らかにする。事例分析として、90年代以降、積極的に製造業分野を中心に海外事業を展開する日系多国籍企業、及び近年、欧米や発展途上国に先端技術や資源開発、製造分野などに幅広く展開する中国系多国籍企業の動向を考察し、多国籍企業の活動とその経済的影響・成果について議論する。   | ◎ | ○ | 8.9,10         |
|      | データサイエンス                      | 2 | 選択必修 | 本講義は統計学の応用であるデータサイエンスの基本と因果推論を学ぶ。本講義では、現在マーケティングや政策立案において必須の知識であるデータサイエンスの基本を学ぶ。特に、実験をすることが難しい社会科学においても因果関係を説明する有効な手法として急速に発展している、因果推論の基本と実践的なスキルを修得する。(1)因果推論のための統計学の応用的手法を習得し、(2)実際のデータをPythonなどの主流のプログラミング言語を用いて分析することで、(3)エビデンスに基づく政策やビジネス上の施策の評価ができることを目指す。   | ○ | ◎ | 7,8,9,10,11,12 |
| 特別講義 | キャリア形成                        | 2 | 選択   | 本講義は、キャリア開発への理解を深め、自分らしいキャリアを形成し適職を追求することを目的とする。履修者の積極的な参加や発表を行う授業を通じて、履修者の能動的な参加を期待する。本講義は前半と後半からなる。前半では、主に自分のこれまでの人生を振り返り、自己のキャリア開発の基礎を確立する。ライブイベントの振り返りなどから、自分が大切にしている価値観、自己の強みと弱みを把握する。自分らしく社会に貢献するキャリア像を構築し、適職を含めた自己のキャリア像を構築する。後半では、適職を探す方法としてのリクルートサイトを使った求職活動トライアルや一般公募する政府機関、一般企業、団体、外資系企業など具体的な就職ターゲットを定め、どうアプローチしていくか、個人個人の就活プランを作成する。                            | ○ | ◎ | 5,8,12         |
|      | 社会先端研究                        | 2 | 選択   | 講義では、アンケート作成や得られたデータに関して、AIなどの最先端の研究を含めた統計処理を学ぶ。これにより、政策研究、国際政治・経済研究、国際企業研究、観光研究など多種多様な領域において、問題設定の方法や、設定した問題に基づいて調査を行う方法、調査した結果を集計し、提示する方法など研究遂行のための知識の獲得が可能になる。また、実際に学生自身がアンケートが作れるようになり、修士論文の作成等を行う際に活用できることを目指す。また、本講義では、エクセル等を用いて実際に作業を行うことで学習を行う。これにより、今後、職場等で活用可能な高度な専門性を養うことが可能になる。  | ◎ | ○ | 9              |
|      | 国際理解・展望                       | 2 | 選択   | この講義ではまず、異文化コミュニケーションの基礎概念を導入し、言語コミュニケーションスタイル、非言語コミュニケーションの特徴や時間と空間の理論を紹介する。次に、文化移動や異文化接触による自らのアイデンティティの変化やカルチャーショックの内容も学んでいく。そして異文化コミュニケーションの障壁となるステレオタイプ・偏見・差別を取り上げ、その軽減方法を検討する。さらに、実際の異文化ビジネスにおける対人コミュニケーションの仕組みや文化の違いが組織に与える影響なども考えていく。最後に、異文化コミュニケーション能力を理解し、異文化コミュニケーション研究の特徴、領域や研究方法も紹介する。各テーマを紹介した後、皆さん自身が日本での経験を踏まえて、グループディスカッションを行い、各自の見解と異文化への認識を発表する。           | ○ | ◎ | 10,17          |
| 演習   | 国際アドミニストレーション演習ⅠA             | 2 | 必修   | 演習ⅠAでは、修士過程における研究を始めるにあたって、2年間のスケジュールや各学期の到達目標、そして修士論文の評価基準などについて指導教員が解説する。学生は研究テーマとする領域の論文や著書などの先行研究を読み、それを整理することでリサーチギャップを模索する。その上で、研究対象の選定、研究のリサーチエッセンス、そして仮説の設定などについて指導を行う。学生は、この演習ⅠAにおいて「研究計画」を作成し、研究科の報告会においてプレゼンテーションを行う。   |   |   |                |
|      | 国際アドミニストレーション演習ⅠB             | 2 | 必修   | 演習ⅠBでは、演習ⅠAで設定した研究テーマや先行研究からの知見、そして、統計学など基礎科目群で取得した知識をもとに、研究の分析手法と調査計画を作成する。定性分析と定量分析の両方またはどちらか一方の選択し、データ収集やインタビューなど実現可能な調査計画の作成を行う。調査計画の設定にあたってはリサーチエッセンスとの整合性を確認し、論文全体の構成を決定する。論文構成を論理的に組み立て、執筆可能な章・項において執筆し始める。学生は、この演習ⅠBにおいて「研究中間報告」を作成し、研究科の報告会においてプレゼンテーションを行う。  |   |   |                |
|      | 国際アドミニストレーション演習ⅡA             | 2 | 必修   | 演習ⅡAでは、演習ⅠBで設定した分析手法に基づき、調査を実行する。調査にあたっては、方法や対象などが客観性や独自性を満たしていることを、指導教員と事前確認する。アンケート調査やインタビュー調査によって収集したデータを整理し、定量、定性的な分析を加える。分析結果が、設定した仮説を支持するかどうかについて結果を要約する。学生は、この演習ⅡAにおいて「論文作成計画」を作成し、研究科の報告会においてプレゼンテーションを行う。   |   |   |                |
|      | 国際アドミニストレーション演習ⅡB             | 2 | 必修   | 演習ⅡBでは、演習ⅡAで行った調査とその分析結果について考察を行い、研究の結論を導出する。考察と結論の導出は、その客観性、論理性、独自性に留意し、研究科の授業科目履修で得た専門知識をもとに行う。学生は、この演習ⅡBにおいて「修士論文概要」を作成し、研究科の報告会においてプレゼンテーションを行う。そして、引用や参考文献などの形式の妥当性について指導教員と確認して修士論文を完成し、提出する。提出後、口述試験を行う。  |   |   |                |
|      | 国際アドミニストレーション特別研究指導           | 2 | 選択   | 本講義では、①国際アドミニストレーション研究科における専門的研究のスキルや知見の習得と深化、②精度の高い論文あるいは研究レポートの作成を目標としている。具体的な授業内容は、院生個々人のニーズや有する専門的知見やスキルに応じて、教員が個別かつ集中的に対応を行い、当該院生の研究における実践的な知見およびスキル・能力を向上させる。院生個々人の知見やスキルを最大限に発揮させるために、特定あるいは複数の教員が、柔軟かつ集中的に対応しながら、高水準の授業対応を行う。  | ○ | ○ |                |
|      | Academic Research and Writing | 2 | 必修   | This course is designed for All English Course students. Students learn essentials of academic writing, such as how to select a research topic and structure a paper (Prof. Endoh). In addition, students learn how to conduct their academic research for their master's thesis (Prof. Ishii). Course activities include lectures, discussion, writings, and presentations. | ◎ | ○ | 7,8,9,10,11,12 |

|                          |  |   |    |   |   |   |                |
|--------------------------|--|---|----|---|---|---|----------------|
| Theories and Methodology | Statistics                                   | 2 | 必修 | This course provides an introductory statistics and the fundamentals of data analysis. The goal of the lecture series is to make students well-equipped with the variety of basic tools and concepts in Statistics and Probability necessary for data analysis. We particularly focus on providing our students with hands-on experiences in working with real-world data using some softwares such as Python, R, and Excel, so that they will be readily tackle a broad range of research questions they will pursue in their master thesis. The topics to be covered in classes will include: (1) mastering how to collect and organize data for decision making; (2) understanding basic concepts in probability and statistics; (3) estimating statistical models and testing hypothesis using data; and (4) forecasting the outcomes using simple linear regression analysis.  | ○ | ◎ | 7,8,9,10,11,12 |
|                          | Business Administration and Economics        | 2 | 必修 | The objective of this course is to learn Business Administration and Economics to prepare research work. In Business Administration, the course covers basic financial analysis methods by using Profit and Loss Statement, Balance Sheet, and Cash Flow Statement. In Economics, In Economics, we study Microeconomics and Macroeconomics. In the Microeconomics part, we study the behaviors of economic agents such as households, firms, and government, and how they interact with each other in markets. It particularly discusses demand and supply, price elasticity, market equilibrium, and social welfare and surplus. The Macroeconomics part discusses the measures of overall economic activities such as Gross Domestic Product (GDP), inflation, unemployment, interest rates, and money, and how they are determined, especially through both fiscal and monetary policies.  | ○ | ◎ | 8,9            |
|                          | Introduction to International Administration | 2 | 必修 | In this course, students will learn about the foundational concepts of on international understanding and perspectives, profit and non-profit, and management, which are essential to their study at the Graduate School of International Administration while majoring in one of the four core fields: Policy Studies, International Politics and Economics, International Corporate Studies, and Tourism. They will also acquire basic knowledge on politics, policy, economics, industry, and business, as well as information and analytical skills in a systematic way. Students are expected to acquire cross-disciplinary perspectives, methods, and attitudes to advance their specialized research. Issues to be discussed include: contemporary issues of political economy and society, as well as global and local affairs. The class consists mainly of lectures, but will also use visual materials, data and information. Students' active participation in discussion, individual research, and presentations are encouraged. | ○ | ◎ | 8,12,17        |
| S P U I S                | Pulic Policy                                 | 2 | 選択 | This class is lecture style for ALL English Course students. The students will study Japanese and world's case studies of tourism area development. They will also share their country's case studies with one another through their discussion and presentation. Finally, the students will submit a report.<br>The goal of this class are: (1) To focus on city and regional planning in Japan and the USA. (2) To understand policy making process in urban policy. (3) To get the academic fundamentals to learn about public policy.   | ◎ | ○ | 3,4,6,9,11     |
|                          | Urban Planning                               | 2 | 選択 | This class is lecture style for ALL English Course students. The students will study Japanese and world's case studies of tourism area development. They will also share their country's case studies with one another through their discussion and presentation. Finally, the students will submit a report.<br>The goal of this class are: (1) To focus on city and regional planning in Japan and the USA. (2) To understand policy making process in urban policy. (3) To get the academic fundamentals to learn about public policy.   | ◎ | ○ | 9,11           |
| I n E c n o m i c s      | International Political Economy              | 2 | 選択 | In this course, students will explore political, economic, and social issues in the world, such as international or regional conflicts, nuclear proliferation, the UN reform, financial crisis, and pandemics. They will learn essential theories and concepts in international relations as well as means of problem solutions, become familiar with causes of a problem, major actors (eg. nation-states, international organizations, global corporations, and individuals), and enhance their skills of data-driven analysis. Classes take the form of lectures, class discussion, presentations, and individual research. Each student will conduct a research project based on his/her topic, which involve planning, data-collection and analysis, and a hypothesis testing.   | ◎ | ○ | 8,9            |
|                          | Macroeconomics                               | 2 | 選択 | The goal of the lecture series is to teach students how to think like an economist. To do so, we will read a standard macroeconomics textbook to acquire the basic framework to understand the economy as a whole. After successfully completing this lecture series, students are expected to be able to think like an economist through: (1) understanding the basic macroeconomic concepts and models; (2) applying the models to understand and interpret current and historical macroeconomic developments—inducting monetary and fiscal policy; and (3) making predictions about future macroeconomic events in both the world and Japanese economies.  | ◎ | ○ | 8,9            |
|                          | Political Risk Management                    | 2 | 選択 | This course focuses on political risk, an emerging issue along with Globalization. Students will learn what impacts (potentials and threats) a political risk poses to global business and social activities based on theories and actual cases, and seek concrete resolution for risk control. In classes, students will become familiar with major theories of general and political risks and learn methods of risk analysis and management using historical, contemporary, or virtual case studies, by means of lectures, class discussions, and student presentations.   | ◎ | ○ | 10,16          |
|                          | American Politics, Economiy, and Society     | 2 | 選択 | In this course, students will learn the historical development of the political system of the United States, the constitution and its philosophy, state structures, political cultures, state-society relationships, and foreign affairs. The course also addresses contemporary issues such as inequality and social divisions along with globalization and the rise and legacy of Trump-era populism. Students should enhance their knowledge on American political, economic, and social issues, and hone their critical analysis skill by means of lectures, class discussion, presentations, and individual research. Each student will conduct a research project based on his/her topic, which involve planning, data-collection and analysis, and hypothesis testing.   | ◎ | ○ | 8,9,10,11,12   |
|                          | ASEAN Politics, Economiy, and Society        | 2 | 選択 | This course is designed for students who are interested in ASEAN. ASEAN is the Association of South East Asia Nations which consist of 10countries, Brunei, Cambodia, Philippine, Indonesia, Laos, Malaysia, Myanmar, Singapore, Thailand and Vietnam. This course will focus on politics, economy and society of each country as well as relation between ASEAN with Japan, China and global. Especially, Japan has close relation with ASEAN and Japan's global direct foreign investment is largest in ASEAN. Hence, understanding ASEAN is important to know future aspect of Japan economic development. Moreover, most of the ASEAN countries are Multi-ethnic can give opportunities to learn the cooperation and coexistence which is important for global society nowadays.  | ◎ | ○ | 8,9,10,11,12   |
|                          | Business Economics                           | 2 | 選択 | The strategic decision of firms is one of the most important decision-making processes because they critically define the success of the companies. Toward the best outcomes for a company seeking to, for instance, maximize their profits or market shares, business economics assists managers by providing theories and insights to guide corporate strategy and decisions-making processes.<br>In this class, we study business economics particularly related to business organization, management, and strategy. Issues to be discussed include: fundamental economic concepts, demand analysis, production and cost, cost analysis, pricing and output decisions, perfect competition, monopolistic competition, monopoly and oligopoly, game theory, and organizational architecture and regulation.   | ◎ | ○ | 8,12           |

|  |                                   |   |      |  |   |   |                 |
|--|-----------------------------------|---|------|--|---|---|-----------------|
| I<br>n<br>t<br>e<br>r<br>n<br>a<br>t<br>i<br>o<br>n<br>a<br>l<br><br>B<br>u<br>s<br>i<br>n<br>e<br>s<br>s<br><br>S<br>t<br>u<br>d<br>i<br>e<br>s | Japanese Business Study           | 2 | 選択   | Japanese Major Industries, that lead economic development , have been changed from Light industry just after World War II to Basic Resource and Energy, Automotive, Electronics, High-tech and Robotics, Information Tech, Culture industries with Animation, Fashion and so on. There are a lot of long-life companies that survive more than 50 years since they were born by complying flexibly with the change of social needs. Some of these companies are SHIMANO, SHINETSU, CANON, 7&i, NITENDO, ASAHI. On the other hand, new type of excellent companies were born after entering the period of low economic growth. Examples of these are NITORI holdings and First Retailing (UNIQLO). We will analyze what are factors of built to last, for the success of these business. The objective of this course is to obtain the ability to evaluate excellent company.   | ◎ | ○ | 8,9,12          |
|  | Venture Business                  | 2 | 選択   | This course is tailored to learn about starting own business (startup). In the lecture, we will discuss key issues in venture business including (1) analyzing and evaluating business opportunities, (2) structuring business model, (3) raising capital at the stages of seed, series and final, (4) managing cash flow, and (5) Exiting by public offering or M&A. Lecture also covers practice of investors, including VC and CVC.   | ◎ | ○ | 8,9             |
|  | Corporate Strategy                | 2 | 選択   | This is an advanced course in International Business, focusing on corporate strategy. By completing this course, you will understand (1) theories and practice of corporate strategy in global context, (2) business analysis including, 5 Force Model, Positioning, PPM, Value Chain, Product Life Cycle, RBV and (3) how strategy works by discussing success and failure business cases.  | ◎ | ○ | 8,9,12          |
|  | Supply Chain Management           | 2 | 選択   | Supply Chain Management (SCM) is a management system that control and manage every process from an origin to a destination of good to maximize 'CASH FLOW'. For example, a process is starting with ' 1. Procurement of material, stocking and transport', ' 2. Making parts, stocking these parts and shipping', ' 3. Manufacturing final products, inventory and shipping', ' 4. Distribution Channel (Inventory, Wholesale and Retail)', ' 5. Sale to Final consumer, maintenance and recycling'. The objective of SCM is to maximize throughput (production and sale volume in monetary amount) by optimizing entire supply chain. You can study of the theory of SCM and lean pragmatic case studies to obtain the capability to apply SCM theory into real life.   | ◎ | ○ | 7,8,9,12,14,15  |
|  | Innovation Management             | 2 | 選択   | Starting with basic theory review for Joseph Alois Schumpeter,as a metabolism of economy that is a key driver for economic growth from creative destruction perspective. We study about the importance of management theory of innovation by using 'The Innovator's Dilemma and The Innovator's Solution from Clayton M. Christensen, successfully following with up-to-date innovation theory such as 'open innovation'. This course provides pragmatic best practices of innovations that are conducted by the Japanese Government and Japanese Companies. You may be able to obtain innovative way of thinking after taking this course.  | ◎ | ○ | 8,9             |
|  | Marketing Strategy                | 2 | 選択   | Marketing is a series of all activities for value creation that meet customers wants. This activity includes ways to maximize a sale. Marketing activity is very similar to the battle, because its aim is to expand territory (like market share). To get market share, they must develop best products/goods, promote them to the market and select appropriate distribution channels with appropriate price. It is very common to start with market segmentation to identify a target. Market analysis to visualize the structure of the market is the first step to nail down for a target. For the students to get an ability to solve real-life problem by using market methodology, this course provides with a lot of pragmatic case studies.  | ◎ | ○ | 8,9             |
| T<br>o<br>u<br>r<br>i<br>s<br>m<br><br>S<br>t<br>u<br>d<br>i<br>e<br>s   | Service Management                | 2 | 選択   | This course explores characteristics of service management and helps students deepen the knowledge of service management. This course introduces examples of service management in tourism sector. English will be used in this lecture. Preparation and Review for lecture will be assumed to spend at least four hours in total.   | ◎ | ○ | 4,6,8,12        |
|  | Tourism Industry                  | 2 | 選択   | This class is lecture style for ALL English Course students. The students will study Japanese and world's case studies of tourism industry and tourism area development. They will also share their country's case studies with one another through their discussion and presentation. Finally, the students will submit a report. The goal of this class are: (1) To explore case studies in Japan and the world. (2) To understand how to develop tourism areas. (3) To get the academic fundamentals to learn about tourism development.  | ◎ | ○ | 8,9,11,12,14,15 |
|  | International Tourism Development | 2 | 選択   | This course explores major concepts in tourism, what makes tourism possible, and how tourism can become an important factor in the wealth of any nation, and then helps students develop the knowledge necessary to understand tourism policy. The course introduces examples of planning and policy theory to explain how theories and concepts can be and have been applied.   | ◎ | ○ | 1,8,16          |
|  | Ailine Business                   | 2 | 選択   | This course is designed for students who are interested in Airline Business. A student will learn about basic operations of airline company including airport, sales/reservation, flight management, and gust service. In addition, the course outlines the role airline company plays in international business, society and traffic economics.   | ◎ | ○ | 9               |
|  | Fieldwork in Tourism Studies      | 2 | 選択   | This class is for ALL English Course students. The students will learn about issues related to social research through group and individual works. In the first half, each group decides on a target area, visits local government offices, collects data, conducts interviews, and compiles a presentation. In the second half, each student will set a theme, make a presentation, and submit a report. The goal of this class are: (1) To learn about fieldwork methods related to tourism research. (2) To deepen understanding of how to analyze and consider the information obtained. (3) To acquire the basics of social research to be applied to the preparation of a master's thesis.   | ◎ | ○ | 11,14,15        |
|  | Hospitality Management            | 2 | 選択   | This course explores characteristics of hospitality industry as the tourism sector. Mainly we are going to study major concept and hospitality industry such as food & beverage service, and, lodging.English will be used in this lecture. Preparation and Review for lecture will be assumed to spend at least four hours in total.  | ○ | ◎ | 4,6,8,12        |
| S<br>t<br>u<br>d<br>i<br>e<br>s  | Policy Design                     | 2 | 選択必修 | There are many players and actors involved in policy formation. And there are many different aspects to it. It also involves a variety of factors such as human resources, funds, information, timing and situations. In this class, students will learn how policy formation takes place, various skills and perspectives involved in policy formation, and the existence and roles of players involved in policy formation and social change, in order to build a foundation that will enable them to play an active role when they are in the field of policy formation and social change. In this class, students are supposed to participate in workshops of various formats and contents to consider and explore how policy formation takes place. Students will also be given assignments and required to conduct preliminary research and make presentations in class. | ○ | ◎ | 12,16           |
|  | Data Science                      | 2 | 選択必修 | This course provides an introduction to data science and causal inference. Identifying cause-and-effect is of most importance in many business and academic fields, and thus the causal inference methodologies are now widely used in Business, Marketing, Psychology, Economics, Public Policy, to name a few. After quickly reviewing the basic concepts in probability and statistics, we will learn about the basic toolkits in causal inference such as multiple regression, difference-in-differences, panel-data, and instrumental variable estimation. Students are also expected to use statistical software such as Python, R, &/or Excel, to illustrate and apply those methodologies to real world data.  | ○ | ◎ | 7,8,9,10,11,12  |

|  |                           |   |      |   |   |   |             |
|--|---------------------------|---|------|---|---|---|-------------|
|  | Corporate Finance         | 2 | 選択必修 | Financial statements are the basis for a wide range of business analysis. The first half of this course, students will learn about basic theory of corporate finance. In addition, students learn about framework to develop an in-depth analysis of business and extract its fundamental value. In the second half of course, students will learn and discuss how this framework can be applied to equity analysis, credit analysis, and major investments through the cases.  | ◎ | ○ | 8,9,12      |
|  | Brand Strategy            | 2 | 選択必修 | This course is designed for students who are interested in advanced marketing focusing on brand strategy. The course provides case studies about brand strategies of major global companies to discuss about how brand can play in overall marketing strategy.  | ◎ | ○ | 8,9         |
| S<br>p<br>e<br>c<br>i<br>a<br>l<br><br>L<br>e<br>c<br>t<br>u<br>r<br>e | Career Development        | 2 | 選択   | This course provides students with opportunities to foster their understanding of how to develop their future career to pursue their unique jobs. To do so, we expect active participation of students through a variety of hands-on experiences in career development throughout classes.<br>The classes are divided into two parts. In the first part, we start by reflecting the past: we review some of the key life events and/or episodes that played milestones in students' life stories. Out of those reflections we expect the students to uncover their core values, strengths and weaknesses, and in what areas students would like to contribute through their jobs.<br>In the second part, students have a trial opportunity to join a recruitment site for finding a better job and demonstrate how to create a personal job-finding plan by making clear a target from Governmental Agency, Companies, Organization and Foreign-capital companies and how to approach to realize your target. | ○ | ◎ | 5,8,12      |
|  | Presentation              | 2 | 選択   | This course is designed for students who are interested in enhancing presentation skill. The course provides opportunities for students to develop presentation materials and deliver that in professional manner.  | ○ | ◎ |             |
|  | Infrastructure Management | 2 | 選択   | Huge investment is needed for every infrastructure's development as transportation (airport, port, expressway and railroad), logistics, power generation and distribution, water supply, other utilities and so on. Infrastructure business are heavily relying on the Government initiatives to start development, in particular, in the first phase of development and management. Japanese Government has been executed many infrastructures development for not only domestics but also foreign countries. The objective of this course is to have an outline knowledge of Japanese Infrastructure Business. Business players are both the Governments and Private Industries, so we call it as PPP(Public Private Partnership).  | ◎ | ○ | 7,8,9,11,12 |
| S<br>e<br>m<br>i<br>n<br>a<br>r  | Seminar I A               | 2 | 必修   | In Seminar I A, the seminar's instructor provides a general instruction on how to proceed a thesis project, such as the two-year schedule, goal(s) for each quarter, and criteria for thesis evaluation. A student conducts literature review, researching and reading existing researches (books and articles) relevant to her/his research theme, organize them, and identify a research gap. Gleaning from the academic research, the student selects research subject(s), formulates a research question(s) and a hypothesis, following the instructor's guidance. In Seminar I A, the student prepares a "Research Plan" and report on it on Student Presentation Day.   |   |   |             |
|  | Seminar I B               | 2 | 必修   | In Seminar I B, a student decides what analytical methodology to adopt for her/his research and makes a research plan, gleaned from the research theme and information obtained through previous studies in Seminar I A, as well as through core courses (eg., statistics) at the GSIA. The student is advised to take either qualitative or quantitative analysis, or a combination of both, and make a feasible research plan for data collection and interviews. She/he outlines the thesis in a logical manner and starts writing a thesis draft whenever possible. In Seminar I B, the student prepares a "Progress Report" and report on it on Student Presentation Day.  |   |   |             |
|  | Seminar II A              | 2 | 必修   | In Seminar II A, a student conducts a research based on the analytical methodology adopted in Seminar I B. In her/his research, the student consults with and get an advanced approval from her/his instructor upon the objectivity and originality of the research methods or subject. Then, the student organizes the data acquired from a questionnaire or interview and make a quantitative or qualitative analysis on it. Further, she/he summarizes a research result, focusing on whether or how the research result supports the original hypothesis. In Seminar II A, the student prepares a "Writing Plan" and report on it on Student Presentation Day.  |   |   |             |
|  | Seminar II B              | 2 | 必修   | In Seminar II B, a student develops an analysis of the previous research and analysis, and draw a conclusion in an objective, logical, and original manner. Also, she/he should ensure that the thesis reflects all the expertise and knowledge acquired throughout her/his study at the GSIA. In Seminar II B, the student prepares an "Outline of the Master's Thesis" and report on it on Student Presentation Day. Finally, the student completes her/his thesis, with full and appropriate citations, quotations, references, as well as writing style and formatting, upon her/his instructor's consultation. An oral examination is conducted upon the student's submission of the thesis.   |   |   |             |
|  | Independent Study         | 2 | 選択   | This course is designed for All English Course students.<br>Professors meet a student individually on a regular basis and assist her/him to develop knowledge and academic skills in the area of specialization.<br>The content of the course is designed in a way to most effectively meet students' specific needs and interests.   | ○ | ○ |             |

◎ : DP達成のために、特に重要な事項

○ : DP達成のために、重要な事項

#### SDGs 17の目標

1. 貧困をなくす…「あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる」
2. 飢餓をゼロに…「飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する」
3. 人々に保健と福祉を…「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」
4. 質の高い教育をみんなに…「すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」
5. ジェンダー平等を実現しよう…「ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う」
6. 安全な水とトイレを世界中に…「すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する」
7. エネルギーをみんなに、そしてクリーンに…「すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する」
8. 働きがいも経済成長も…「包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する」
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう…「強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る」
10. 人や国の不平等をなくそう…「各国内及び各国間の不平等を是正する」
11. 住み続けられるまちづくりを…「包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する」
12. つくる責任つかう責任…「持続可能な生産消費形態を確保する」
13. 気候変動に具体的な対策を…「気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる」
14. 海の豊かさを守ろう…「持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する」
15. 陸の豊かさを守ろう…「陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する」
16. 平和と公正をすべての人に…「持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する」
17. パートナリシップで目標を達成しよう…「持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する」